

# 「初めてのこんにゃく作り」

三春町立中妻小学校 四年 佐藤 美幸

「こんにちは。」

みんなが大きな声であいさつしました。農業試験場の五十嵐さんと、こんにゃく作り名人の鈴木シカさんが、わたしたちのこんにゃく作りの手伝いに来てくれました。「じょうずにできるといいなあ。」と思いました。いよいよ待ちに待った、初めてのこんにゃく作りが始まりました。

まず、きれいにいもをあらいます。シカさんが手本を見せてくれました。そして、みんなも、ごしごしあらいました。ほんの少し皮を残しながらやりました。次にいもをする作業です。私たちの班やみんなは、ミキサーでやりました。でも私たちだけ、水の量が少なすぎて失敗してしまいました。

「失敗は成功のもと。失敗は成功のもと。」と信じ、今度はシカさん流にすり金ですってみました。「今度こそは、ぜったい成功するぞ。」という気持ちで、一生けん命すりしました。

こんにゃくの方は友達の高佳さんとゆうき君にまかせて、私は、奈苗さんと教頭先生とでみそ作りをしました。みそはとてもおいしくでき上がりました。こんにゃくの方もおいしくでき上がりそうでした。

いよいよ食べる時間になりました。形はちょっと悪かったけど、味は、手作りだからおいしかったです。買った物とちがって、愛情がつまっている感じがしました。

今ふり返ってみると、こんにゃくいもを作るのは大変だと思ったけど、きちんと世話をすることができたのでよかったと思います。やってよかったなあと思いました。

もし来年もできたら、やってみたいです。